第 20 回　分離プロセス部会　総会　議事録

日　時：2022 年 3 月 16 日(水)　12：00～13：00
方　法：オンライン形式
参加者：　23 名

議題

1.　報告事項

1.1. 2021 年度の部会の活動報告

部会の主催行事として「第 17 回分離プロセス部会基礎講座」および「第 9 回最新技術講座」を開催した。他に国際関連事業 3 件、シンポジウム・講演会などの行事 1 件、本部大会・支部行事関連行事（秋季大会シンポジウム）6 件、講習会などの啓発活動 8 件、出版物・ 特集号などの化学工学会出版への寄与 1 件、部会ニュース・メールマガジンなど の発行 1 件が当年度の活動内容として報告された（共催・協賛行事などを含む)。幹事会は 2 回開催し、さらに秋季大会分離プロセス部会ポスター賞として学生賞 10 件を授与した。以上について、庶務幹事から報告された。

1.2. 部会 CT・部会長合同会議報告

直近の本部大会（2022 年 3 月の第 87 年会と 2022 年 9 月の第 53 回秋季大会）の概要や、部会 CT 賞の選考状況などの議題について庶務幹事から報告された。

2.　審議事項

2.1. 会計報告

会計ソフトの新規導入に伴い正味財産増減計算書や収支計算書の書式が大幅に変更されたことや、2021 年度収支決算として経常収益 1,624,067 円、経常費用 1,705,011 円であることが庶務幹事から報告された。これを踏まえて、部会監事から 2021 年度決算の監査報告が行われた。また 2021 年度決算と同規模の 2022 年度予算を計上したことが庶務幹事から報告された。

2.2. 2021～2022 年度役員

部会長、副部会長 3 名、幹事 12 名（副部会長を兼務する 2 名を含む)、監事 2 名、事務局 1 名の体制を 2022 年度も継続し、その構成員に変更がないことについて、部会長および庶務幹事から報告された。

2.3. 2022 年度の部会の活動予定

基礎講座、講演会及び見学会、秋季大会シンポジウムを、それぞれ固液分離分科会、蒸留分科会、膜工学分科会が担当することが庶務幹事から報告された。

化学工学誌編集委員については、前年度に続き膜工学分科会が担当することが合わせて報告された。

以上、3 つの審議事項について、参加者の過半数以上の賛成により議決された。

3.　その他

3.1 「化学工学」2022 年度年鑑の担当者について

計 5 名の執筆担当者について、庶務幹事から紹介された。

3.2. 分離プロセス部会　会員数の推移

2021 年度と 2022 年度の会員数の推移が庶務幹事から報告された。

（2022 年 2 月現在、正会員 394 名、学生会員 100 名）

以上